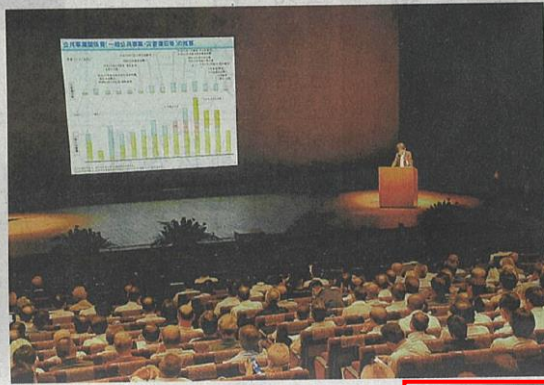


北近畿豊岡・山陰近畿自動車道 早期実現求め決議文採択

最近の道路行政に関する講演などがあつた2自動車道の早期実現促進大会
豊岡市民会館



豊岡 国会議員ら800人参加

北近畿豊岡自動車道と山陰近畿自動車道の早期実現促進大会が5日、豊岡市立野町の同市民会館であつた。但馬3市2町から約800人が参加、両自動車道全線の早期完成などを求める決議文を採択した。

大会では、各種住民団体の代表や各市町長、谷公一・防災担当相（衆院議員）ら国会議員、斎藤元彦知事、県議会議員らが出席。基調講演では、国土交通省の丹羽克彦・道路局長が最近の道路行政などについて説明

続く意見発表では、2人が登壇。新温泉町の高校生は自動車道の整備が進むと、「新温泉町は鳥取とも

豊岡ともアクセスしやすくなる」と利点を強調する半面、「通過点にならないように、町内で降りてもらえるような工夫が必要。授業で方策を考えている」などと報告した。

その後、自然災害時や緊急搬送、都市部と地方部の均衡ある発展などのため、全線の早期整備などを要望し、自らも魅力ある地域づくりが必要とする

決議文を採択した。
（小日向務）